

# はたちの夢

鈴木 昂也さん



本日は、成人式を迎えた私たちの門出に対しこのような盛大な成人式を開いていただき、誠にありがとうございます。また、お祝いや激励の言葉をいただきました。町長様はじめご来賓の方々、そして、ご出席してくださいました皆さまに新成人を代表して、心より感謝申し上げます。

思い出せば、私たちは小学校卒業式を目前に2011年3月11日の東日本大震災により避難を余儀なくされてしまい、その日を境にして私たちは散り散りとなってしまいました。私は、平田村公民館に避難して蓬田中学校へ入学することができましたが、次の避難先が決まってしまい、4日間の学校生活でした。

それから、石川中学校、草野中学校へと転校を繰り返して、震災の翌年の2学期から広野中学校再開と共に私たち家族は、広野町に帰る事を決めました。震災で大変な事も色々ありましたが、避難先での人との出会い、別れも沢山あり、人の温かさ、感謝することなど貴重な経験をすることができました。今こうして広野町で切磋琢磨し、成長してきた仲間達と成人を迎えられることを大変嬉しく思っております。

皆さんは今、どのような夢を持っていきますか。私の夢は、広野町がこれからずっと、地域の方々の温かさや笑顔で満ちていて、若い人たちの活気で溢れている町であってほしいです。私は少しでも広野町の復興の力になりたいと思ひ、広野町に就職することを決めました。現在、工業団地にある富士フィルム和光純薬という試薬、化成品を製造している会社に勤めています。もうすぐ3年目になります。まだまだ学ぶ事がたくさんあります。社会に出たら様々な人びとに出会い、今よりも理不尽なことに遭遇することもあると思います。その時、どのように対処できるかが、人間性の問われるところだと思ひます。同じ失敗は絶対しないようにしたいといけません。過去の失敗や成功、様々な方々と交流した経験を活かして、責任感、協調性、行動力のある社会人になれるよう一杯頑張りたいと思ひます。

最後に、私たちが本日ここで成人式を迎えられるのは、私たちが支えてくださった家族、導いてくださった先生方、そして、共に歩んだ仲間たちのおかげです。この感謝の気持ちを忘れず精進してまいりますので、どうかこれからも温かい目で見守ってくださいますようよろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、以上をもちまして新成人代表の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

# 謝辞

柏 帆南実さん

本日は、私たちのためにこのような盛大な式典を催していただきまして、誠にありがとうございます。

また、お祝いや激励の言葉をいただきました町長様、ご来賓の方々、ご出席いただきました皆さまに新成人一同を代表して、心より感謝申し上げます。成人となる喜びを噛みしめると同時に、今後の責任の重大さを痛感しております。

生まれて20年間、多くの人に出会い、多くの物を見てきました。時に泣き、時には笑い、様々な経験をしました。良い事も悪い事も、

就き、社会で活躍している者、更なる学業に励む者など、それぞれの置かれる状況は異なりますが、一人一人がその責任の重さを自覚し、名実ともに大人として認められるよう、自分を磨き、精進してまいります。

本日は、成人の門出を迎えることができましたのは、ひとえに家族や先生方、地域の皆さまの温かい愛情とご指導のおかげだと思っております。20歳を迎えただばかりで、まだまだ未熟な私たちですが、どうかこれからも皆様の温かいご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願

い申し上げます。最後にありますが、このような素晴らしい式典の開催にあたりご尽力下さった関係者の皆さま、お祝いや激励のお言葉をいただきました町長様はじめご来賓の方々、ご出席いただきました皆さまに改めて感謝を申し上げます。新成人代表の謝辞とさせていただきます。

皆さま、本日は誠にありがとうございます。

# はたちの夢

渡邊 陽奈さん



本日は、私たちのために、このような盛大な成人式を催していただき、誠にありがとうございます。また、お祝いと激励の言葉をいただきました町長様をはじめ、来賓の方々、さらにご臨席を賜りました多くの皆様に感謝申し上げます。東日本大震災から8年が経とうとしています。私たちは、当時、小学6年生で卒業式を迎えようとする目前でした。突然の友人との別れから、成人式という大きな節目を迎えた今日、この場で再会した仲間たちが様々な道に進んでいることを知り、嬉しく、感慨深く、誇らしく思います。

私は、現在、都内の大学に

通い、心理学を勉強しています。それぞれ個人が抱える問題を中心に、社会生活の中で誰しもが経験したことがある人間関係間での疑問などを問題として考えています。震災を経験し、他県の学校を転々としながら、いろいろな人と関わる中で、良かったことも大変だった経験もたくさんしてきました。また、震災がなければ、知ることもなかった、身近な人の考えなどを自然と知ることもあり、さらに人間の心や行動などを考えていきたいと思ひ、この学問に出会いました。大学卒業後の夢は、まだ決まっていますが、地元広野町に戻り、大学生活で

学んだことを少しでも役立てて、社会へ羽ばたきたいと考えております。今こうして大学で学ぶことが出来ているのも両親のお陰であり、本当に感謝しています。大学での生活は日々、自分自身の成長を感じることができています。今の自分が有るのも、指導してくださった小学校、中学校、高校の先生方、仲間たちのお陰です。そして何より一番、両親にこの感謝を伝えたいです。

20歳の大きな節目を迎え、まだ、実感はわかず、心は追いついていないようにも正直感じていますが、だんだんと大人としての自覚と責任を持ち、行動しなければならぬと改めて感じております。これから先、どのような道に進むのか、また、どのような選択をしていくのか、私たちの新しい世代の責任であり、支えてくださった方々への恩返しとなります。頑張ります。

本日の式でいただいた沢山の祝福と、今まで私たちが受けてきたすべてのご恩に対し、重ねて感謝を申し上げます。新成人代表の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



全ての経験が生きる力となり今の自分があるのだと思ひます。震災という特別な経験をしました私たちは、より強く、健康に今日を迎えられたことに幸せと喜びを感じております。

私たちは今日のこの日をもって、正式に大人の仲間入りを果たすことになりました。私たちはより大きな自由を得ますが、それには、同時により大きな責任が伴います。既に職に

い申し上げます。最後にありますが、このような素晴らしい式典の開催にあたりご尽力下さった関係者の皆さま、お祝いや激励のお言葉をいただきました町長様はじめご来賓の方々、ご出席いただきました皆さまに改めて感謝を申し上げます。新成人代表の謝辞とさせていただきます。

皆さま、本日は誠にありがとうございます。